

胸部 CT 検査施行例における心臓領域石灰化病変の検出とその臨床的意義に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年5月14日～2026年3月31日

〔研究課題〕 胸部 CT 検査施行例における心臓領域石灰化病変の検出とその臨床的意義に関する研究

〔研究目的〕

検診目的で施行された胸部 CT 検査による心疾患検出能および、患者情報すなわち病歴、身体所見、採血結果、生理機能検査結果(心電図、エコー検査、ABI 検査など)、頭部 MRI・MRA、腹部 CT の結果から、新たな心疾患予測因子を見出すことを目標とします。

〔研究意義〕

マルチスライス CT を用いた胸部 CT 検査は、冠動脈硬化病変としての冠動脈石灰化、心臓弁膜症としての大動脈弁石灰化・僧帽弁輪石灰化を定量評価することができるようになりました。冠動脈石灰化の定量評価には、心電図同期が推奨されていましたが、非同期での計測値でも、心事故の予測に有用であることがガイドラインに明記されるようになりました。しかしながら、日本人における、本検査法による冠動脈石灰化、大動脈弁石灰化、僧帽弁輪石灰化検出およびその臨床的意義についての検討は行われておりません。本研究を行うことにより、心臓領域石灰化病変の臨床的な意義を明らかにすることが出来ます。

〔対象・研究方法〕

健診会東京メディカルクリニック(東京都北区滝野川 6-14-9)において人間ドックの際に胸部 CT 検査(2018年11月～2021年3月31日)が行われた患者さんを対象とし、冠動脈、大動脈弁、僧帽弁輪石灰化病変の各有病率を明らかにします。さらにその他の検診検査項目より、各石灰化病変の予測因子を探索します。また、胸部 CT 検査を複数回施行した方を対象に、各石灰化病変所見の経時的変化と新たに見出した予測因子の関連性について検討します。東京メディカルクリニックより提供されるデータは個人を特定できないデータとして受け取り、帝京大学医学部附属病院循環器内科で解析します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報取り扱い〕 「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従います。研究に携わる関係者は被験者 研究対象者の個人情報保護に最大限の努力をします。研究責任/分担医師は、匿名化したデータを用い、個人を特定できる情報(氏名・住所・電話番号など)は記載しません。研究責任医師は、当該臨床研究の実施に係る記録(文書および電子記録)を研究終了後循環器内科研究室 TARC に 10 年間保存し、その後破棄いたします。

〔その他〕 本研究は、後ろ向きの疫学調査であり、患者さんへの経済負担や支払いは生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学医学部内科学講座 准教授 横山直之

研究分担者： 帝京大学医学部内科学講座 紺野久美子 内科 講師

帝京大学医学部内科学講座 山本博貞 内科 助教

所属： 帝京大学医学部内科学講座

住所： TEL:03-3964-1211(代表) [内線 30415]